

サステナブル ディベロップメント ゴールズ  
**Sustainable Development Goals**

|| 持続可能な

|| 開発

|| 目標

今のままでは『持続不可能』？

経済活動などによって地球全体の環境破壊が進んでいる今のような社会は『持続可能』とは言えません。将来にわたって全ての人が豊かで幸せであり続けられるよう、持続可能な社会への変革が求められています。

社会をより良く

『開発』と聞くと発展途上国の話とを感じる方もいるかもしれませんが、開発には、新しいものをつくるという意味だけではなく、『発展』や『進歩』という意味もあり、先進国に住む私たちにも多くの『開発すべきこと』があります。

互いに関連する目標

目指すべき17の目標は、社会、経済、環境の側面で、世界が直面する課題を網羅しています。また、目標それぞれが、互いに関連しており、統合的に解決していくことが、持続可能なより良い未来へとつながります。

例えば、こんなことも



こまめに電気を消す



無駄なエネルギーを消費しない温室効果ガスの排出が減り、地球温暖化を抑制



自然環境が守られ、海や陸の生き物の命も守られる



海や陸の恵みを受け、豊富な食料が確保される



十分な栄養で、みんなが健康に

市内でもSDGsの取り組みが進んでいます

北海道登別明日中等教育学校

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の理念を実践する学校『ユネスコスクール』に登録されている北海道登別明日中等教育学校。各生徒が、SDGsについて、グループ学習から始め、『グローバル』・『自分事』な課題の発見、地域における聞き取り調査、課題解決のための実践活動



▲市制施行50周年を記念した取り組みを企画する北海道登別明日中等教育学校の生徒

※『グローバル』とは、グローバル (Global: 地球規模の、世界規模の) とローカル (Local: 地方の、地域的な) を掛け合わせた造語で、『地球規模の視野で考え、地域視点で行動する』という考え方のことです。

までを、3年に渡り『探求活動』として行い、また、成果発表会で生徒間の共有も図っています。

株式会社アール・アンド・イー

北海道において、多種多様な地域資源を生かしながら、SDGs達成に向けた取り組みを積極的に推進していくために設立された『北海道SDGs推進ネットワーク』に加入。同社の技術や専門性を生かして、工場や建築現場などで排出される産業廃棄物の再資源化など、社会課題の解決に取り組んでいます。

ちょっとした取り組みでも多くの目標につながっていく

目標17 パートナリーシップで目標を達成しよう

SDGsの目標は、地球規模のため、なかなか自分事のように感じられないかもしれません。しかし、大きな目標だからこそ、国や自治体だけではなく、民間企業や市民活動団体、そして私たち一人ひとりが行動に移す必要があります。SDGsの大きな特徴の一つとして挙げられる、『目標17の『パートナーシップで目標を達成しよう』。生活する地域や立場が異なる人々が、SDGsという共通の目標のもと、協働して大きな課題解決

決に取り組む。これは、登別市が推進する『市民と行政による協働のまちづくり』と同じ考えです。よりよい社会としていくために、身の周りにもできることはたくさんあります。例えば、『ごみの分別を徹底し、ごみの減量化に努める』、『ボランティア活動に参加すること』、『SDGsの推進につながる一つの行動です。ぜひ、SDGsについて、関心を持っていただき、『今できる』日常生活のちょっとしたことを考え、実践してみませんか。一人ひとりの活動の積み重ねが、社会をよりよくし、SDGsの課題解決へと近づいていきます。